

プロジェクトデザインマトリックス：ヴィエトナム国ハノイ工科短期大学技術者養成計画（現行の英文PDMの翻訳）修正版  
プロジェクト名：ヴィエトナム国ハノイ工科短期大学技術者養成計画 プロジェクト

期間：2000年4月1日～2005年3月31日

プロジェクトの要約	組織	情報データ入手手段	外部条件
上位目標 ベトナム国の機械工業分野の職業知識が強化され、技術労働者の技能が向上する	機械工業分野において雇用される技術労働者数 （～年までに、～名増加する）	計画投資資金及び工業者の統計	1. 国内工業界の経済状況が安定しない。 2. ベトナム政府が工業発展に方針する政策を遂行しない
プロジェクト目標 ハノイ工科短期大学（HIC）の機械技術者養成能力が向上し、ベトナム国における機械工業分野の発展に貢献した訓練コース（機械加工、機械板金加工、電気制御）が開発され、かつ真正に実施される。	1 技術労働者資格を取得した当該訓練コース卒業生数 2 実践工場に雇用された当該訓練コース卒業生数 3 多くの教育による訓練施設コース実施回数 4 訓練施設も巧みで設備の充実度	1 ハノイ工科短期大学卒業生リスト 2 卒業生の雇用状況記録 3 ハノイ工科短期大学記録（訓練計画記録） 4 ハノイ工科短期大学記録（教職員配置表）	1 職業訓練に対する社会満足が向上する。 2 技術労働者を輩出する訓練センターの普及が能力（が低下しない。）
成果 1 機械工業分野の体系だった訓練が計画される。 2 訓練生募集選考体制が確立される。 3 ハノイ工科短期大学の機械工業分野の指導教官が必要数 記録される。 4 訓練コース（機械加工、機械板金加工、電気制御）が開発、実施される。 5 適切な施設、機材、設備が設置及び活用される。 6 ハノイ工科短期大学の組織、人事、財政が適切に運営される。	1-1 訓練実施の詳細計画 2-1 効果的な宣伝活動の実施 3-1 当該訓練コース指導員の数、質、能力の向上 4-1 当該訓練コースの労務（コース数と費） 4-2 卒業生の訓練計画に関する費用者への負担額 5-1 施設、機材、設備のリスト 5-2 適切な施設、機材、設備が設置及び活用される。 6-1 適切な組織形態と良好な財政状況 6-2	1-1 訓練計画書 2-1 宣伝活動に係る出版物 3-1 指導員の評価表 4-1 ハノイ工科短期大学卒業生リスト →2 卒業生の訓練計画に関する費用者への負担額 5-1 施設、機材、設備リスト 6-1 組織図及び年次報告（財政報告）	1 プロジェクトに係る労働市場情報が十分である。 2 プロジェクトの目的に合った十分な数の訓練生が労働市場に存在する。
活動 (下段に記載)	投入 ベトナム側 1 建物及び「プロジェクト」用機材 2 ベトナム人兼任カウンターパートの配置 3 運営管理職員の配置 4 プロジェクト実施に必要な費用	投入 日本側（協力期間：5年） 1 長期専門員：5名 チーフアドバイザー 調整員 専門分野（機械加工、金属加工、電気制御） 2 短期専門員 プロジェクトの円滑な実施のために必要に応じて派遣される。 3 カウンターパート未採用地 プロジェクトの年間実行計画に基づき、技術協力の予算枠 限の範囲内で日本において訓練される。 4 給与機材 プロジェクトの効率的な実施に必要な機材、設備は技術協 力の予算枠限の範囲内で提供される。 5 現地事務所	前提条件 * ハノイ工科短期大学の指導員が確保しない。 * ハノイ工科短期大学の財政状態が安定している。 * プロジェクト実施のための建物、施設及び必要な数の機材がベトナム側より 確保に供与され、活用可能と判断される。
活動 1) 機械工業分野の体系だった訓練が計画される。 1)-1 ベトナムにおける機械工業界の現状を分析する。 1)-2 機械工業界が必要としている職業訓練内容を明確にする。 1)-3 機械工業界のニーズに適合した訓練内容を決定する。 1)-4 ハノイ工科短期大学の訓練政策に照応する。 2) 訓練生募集選考体制が確立される。 2)-1 入学志願者の応募資格、条件を決定する。 2)-2 有能な入学志願者を募集するための広範、宣伝活動を展開する。 2)-3 訓練生の募集、選考を実施する。 3) ハノイ工科短期大学の機械工業分野の指導教官が必要数 記録される。 指導員を以下の項目について、ベトナム国及び日本において訓練する。 3)-1 カリキュラム開発手法を把握する。 3)-2 分野ごとに専門技術者を指導する。 3)-3 教科書、教材を開発する。 3)-4 訓練方法を指導する。 3)-5 指導者能力を指導する。 3)-6 コース管理手法を指導する。 3)-7 コース評価手法を指導する。	活動 4) 訓練コース（機械加工、機械板金加工、電気制御）が開発、実施される。 4)-1 訓練コースのカリキュラムを作成する。 4)-2 訓練コースの教科書、教材を作成する。 4)-3 訓練コースを実施する。 4)-4 訓練コース内容を評価する。 4)-5 訓練コース内容を必要に応じて改訂する。 5) 適切な施設、機材、設備が設置及び活用される。 5)-1 機材、施設を調査し、整備する。 5)-2 施設、設備、機材を管理し、保守する。 6) ハノイ工科短期大学の組織、人事、財政が適切に運営される。 6)-1 必要な予算を確保し、適切に執行する。 6)-2 計画に即じた適正な人員を確保する。 6)-3 定期的に管理をモニターする。 6)-4 定量的・定性的に組織を改善する。 6)-5 ハノイ工科短期大学の運営に参画する。		

評価用プロジェクトデザインマトリックス(案)：ヴィエトナム国ハノイ工科短期大学技術者養成計画 (中間評価)

プロジェクト名：ヴィエトナム国ハノイ工科短期大学技術者養成計画 プロジェクト

プロジェクトサイト：ハノイ工科短期大学 Minh Khai校

ターゲットグループ：HICの指導教官

期間：2000年4月1日－2005年3月31日

作成日：2002年8月20日

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標 ヴィエトナム国における機械工業分野の技能労働者の技術が向上する。	機械工業分野において雇用される技能労働者数 (1年までに 10%増加する) ※注要	計画投資省及び工業省の統計	* 国内工業界の経済状況が悪化しない。 * ヴィエトナム政府が工業発展に反対する政策を強要しない。
プロジェクト目標 ハノイ工科短期大学 (HIC)の機械技術者養成能力が向上する。	1 短期職業訓練コース数、参加者数 2 短期職業訓練参加者による訓練内容の評価 (聞き取り調査等) 3 技能労働者資格を取得した当該長期訓練コース卒業生数 (120名以上) 4 長期職業訓練相当コース授業時間数 5 技術移転を受けたCPの定着状況 6 関係者による訓練内容の評価	プロジェクト、HICの資料 プロジェクトの資料 プロジェクト、HICの資料 プロジェクト、HICの資料 プロジェクト、HICの資料 プロジェクトの資料	* 職業訓練に対する社会の理解が深まる。 * 技能労働者を輩出する訓練センターの数及び能力が低下しない。
成果			
1 機械工業分野のニーズにあった訓練計画が策定される。	1-1 機械工業界現状分析結果調査及び情報収集結果 1-2 機械工業界のニーズ分析報告書及び情報収集結果 1-3 考案された訓練計画書及びその改訂版	1-1 プロジェクトおよびHICの資料 1-2 プロジェクトおよびHICの資料 1-3 プロジェクトおよびHICの資料	* プロジェクトに係る労働市場情報が十分である。 * プロジェクトの目的に合った十分な数の訓練生が労働市場に存在する。
2 訓練生募集・選考体制が確立される。	2-1 募集・選考規定 2-2 広範囲に作成された資料 (新聞広告等) 2-3 訓練生の応募者数	2-1 HICの資料 2-2 プロジェクトおよびHICの資料 2-3 HICの資料	
3 ハノイ工科短期大学の機械工業分野の指導教官の能力が向上する。	3-1 短期職業訓練参加者の指導教官に対する評価 (聞き取り調査等) 3-2 関係者による指導教官に対する評価 3-3 長期訓練生へのPost-Testの結果	3-1 プロジェクトの資料 3-2 プロジェクトの資料 3-3 HICの資料	
4 機械加工、機械板金加工、電気制御分野での適切な訓練が短期、長期職業訓練コースとして確立される。	それぞれ短期、長期職業訓練において、 4-1 各分野別に作成、活用されたカリキュラム 4-2 各分野別に作成、活用された教科書、教材の数 4-3 各分野別訓練コースの実施回数 (短期訓練の場合) 4-4 各分野別訓練コースの参加者数 (短期訓練の場合) 4-5 各分野別訓練コースの計画数と実績数 (長期訓練の場合) 4-6 各分野別訓練コースの訓練生計画数と実績数 (長期訓練の場合)	4-1 HICの資料 4-2 HICの資料 4-3 HICの資料 4-4 HICの資料	
5 適切な施設、機材、設備が設置され有効に活用される。	5-1 設置された機材、施設の数 5-2 各機材の活用度 (故障の回数等で測る) 5-3 機材の保守・管理状況	5-1 プロジェクトおよびHICの資料 5-2 プロジェクトおよびHICの資料 5-3 プロジェクトおよびHICの資料	
6 ハノイ工科短期大学の組織、人事、財政が適切に運営される。	6-1 年間予算額の推移と予算構成 6-2 プロジェクトに対する予算の執行状況 6-3 CPの配置状況 6-4 運営委員会の開催頻度 6-5 入学者数に対する卒業生数の割合	6-1 HICの資料 6-2 HICの資料 6-3 HICの資料 6-4 プロジェクトの資料 6-5 HICの資料	

活動		投入		
(下段に記載)	ヴィエトナム側	日本側（協力期間：5年）		
	1 建物及びプロジェクト用機材 2 ヴィエトナム人専任カウンターパートの配置 3 運営管理職員の配置 4 プロジェクト実施に必要な費用	1 長期専門家：5名 チーフアドバイザー 調整員 専門家（機械加工、金風加工、電気制御） 2 短期専門家 プロジェクトの円滑な実施のため必要に応じ派遣される。 3 カウンターパート本邦研修 プロジェクトの年間実行計画に基づき、技術協力の予算措置の範囲内で日本において訓練される。 4 供与機材 プロジェクトの効果的な実施に必要な機材、設備は技術協力の予算措置の範囲内で供与する。 5 現地業務費	・ ハノイ工科短期大学の指導員が離職しない。 ・ ハノイ工科短期大学の財政基盤が安定している。	
			附属条件 ・ プロジェクト実施のための建物、施設及び必要な数の機材がヴィエトナム側より確実に供与され、活用可能な状態にある。	
活動				
1) 機械工業分野のニーズにあった訓練計画が決定される。 1)-1 ヴィエトナムにおける機械工業界の現状を分析する。 1)-2 機械工業界が必要としている職業訓練内容を明確にする。 1)-3 機械工業界のニーズに適合した訓練内容を決定する。 1)-4 ハノイ工科短期大学の訓練強さに助言する。	3) ハノイ工科短期大学の機械工業分野の指導教官の能力が向上する。 (指導員が以下の項目について知識と技術を習得する。) 3)-1 カリキュラム開発手法を習得する。 3)-2 分野別専門技術を習得する。 3)-3 教科書、教材開発手法を習得する。 3)-4 訓練技法を習得する。 3)-5 講義準備手法を習得する。 3)-6 コース管理手法を習得する。 3)-7 コース評価手法を習得する。	4) 機械加工、機械板金加工、電気制御分野での適切な訓練が短期、長期職業訓練コースとして確立される。 4)-1 訓練コースのカリキュラムを作成する。 4)-2 訓練コースの教科書、教材を作成する。 4)-3 訓練コースを実施する。 4)-4 訓練コース内容を評価する。 4)-5 訓練コース内容を必要に応じ改訂する。 4)-6 その他、技術移転に必要な教材を作成する。 5) 適切な施設、機材、設備が設置され 有効に活用される。 5)-1 機材、施設を調達し、設置する。 5)-2 施設、設備、機材を管理し、保守する。	6) ハノイ工科短期大学の組織、人事、財政が適切に運営される。 6)-1 必要な予算を確保し、適切に執行する。 6)-2 計画に応じた適正な人員を確保する。 6)-3 定期的に管理をモニターする。 6)-4 自立発展的に組織を企画運営する。 6)-5 ハノイ工科短期大学の運営に助言する。	
2) 訓練生募集選考体制が確立される。 2)-1 入学志願者の応募資格、条件を規定する。 2)-2 有能な入学志願者を募集するための広報、宣伝活動を実施する。 2)-3 訓練生の募集、選考を実施する。 2)-4 ハノイ工科短期大学の訓練コースの訓練生募集・選考関連の活動について助言をする。				

## プロジェクトデザインマトリックス改訂版：ヴィエトナム国ハノイ工科短期大学技術者養成計画

プロジェクト名：ヴィエトナム国ハノイ工科短期大学技術者養成計画 プロジェクト

期間：2000年4月1日～2005年3月31日

プロジェクトサイト：ハノイ工科短期大学 Minh Khai校

ターゲットグループ：HICの指導教官

プロジェクトの要約	指標	指標データ入手手段	外部条件
上位目標			
ヴィエトナム国における機械工業分野の技能労働者の技能レベルが向上する。	職業訓練を修了した機械技術者の増加 機械工業分野に就職している機械技術者の増加	ヴィエトナム政府の統計資料	* 国内工業界の経済状況が悪化しない。 * ヴィエトナム政府が工業発展に反対する政策を強要しない。
ハノイ工科短期大学 (HIC)の機械技術者養成能力が向上する。	1 短期職業訓練コース数、参加者数 2 短期職業訓練参加者による訓練内容の評価 (聞き取り調査等) 3 技能労働者資格を取得した当該長期訓練コース卒業生数 (120名以上) 4 長期職業訓練担当コース授業時間数 5 技術移転を受けたCPの定着状況 6 関係者による長期訓練内容の評価	プロジェクト、HICの資料 プロジェクトの資料 プロジェクト、HICの資料 プロジェクト、HICの資料 プロジェクト、HICの資料 プロジェクトの資料	* 職業訓練に対する社会の理解が深まる。 * 技能労働者を輩出する訓練センターの改及び能力が低下しない。
成果			
1 機械工業分野のニーズにあった訓練計画が策定される。	1-1 機械工業界現状分析結果報告書及び情報収集結果 1-2 機械工業界のニーズ分析報告書及び情報収集結果 1-3 策定された訓練計画書及びその改訂版	1-1 プロジェクトおよびHICの資料 1-2 プロジェクトおよびHICの資料 1-3 プロジェクトおよびHICの資料	* プロジェクトに係る労働市場情報が十分である。 * プロジェクトの目的に合った十分な数の訓練生が労働市場に存在する。
2 訓練生募集・選考体制が確立される。	2-1 募集・選考規定 2-2 広範囲に作成された資料 (新聞広告等) 2-3 訓練生の応募者数	2-1 HICの資料 2-2 プロジェクトおよびHICの資料 2-3 HICの資料	
3 ハノイ工科短期大学の機械工業分野の指導教官の能力が向上する。	3-1 短期職業訓練参加者の指導教官に対する評価 (聞き取り調査等) 3-2 関係者による長期訓練指導教官に対する評価 3-3 長期訓練生へのPost-Testの結果	3-1 プロジェクトの資料 3-2 プロジェクトの資料 3-3 HICの資料	
4 機械加工、金属加工、電気制御分野での適切な訓練が短期、長期職業訓練コースとして確立される。	それぞれ短期、長期職業訓練において、 4-1 各分野別に作成、活用されたカリキュラム 4-2 各分野別に作成、活用された教科書、教材の数 4-3 各分野別訓練コースの実施回数 (短期訓練の場合) 4-4 各分野別訓練コースの参加者数 (短期訓練の場合) 4-5 各分野別訓練コースの計画数と実績数 (長期訓練の場合) 4-6 各分野別訓練コースの訓練生計画数と実績数 (長期訓練の場合)	4-1 HICの資料 4-2 HICの資料 4-3 HICの資料 4-4 HICの資料 4-5 HICの資料 4-6 HICの資料	
5 適切な施設、機材、設備が設置され有効に活用される。	5-1 設置された機材、施設の数 5-2 各機材の活用度 5-3 機材の保守・管理状況	5-1 プロジェクトおよびHICの資料 5-2 プロジェクトおよびHICの資料 5-3 プロジェクトおよびHICの資料	
6 ハノイ工科短期大学の組織、人事、財政が適切に運営される。	6-1 年間予算額の推移と予算構成 6-2 プロジェクトに対する予算の執行状況 6-3 CPの配置状況 6-4 運営委員会の開催頻度 6-5 入学者数に対する卒業生数の割合	6-1 HICの資料 6-2 HICの資料 6-3 HICの資料 6-4 プロジェクトの資料 6-5 HICの資料	

活動	投入		
	ベトナム側	日本側（協力期間：5年）	
(下段に記載)	1 建物及びプロジェクト用機材 2 ベトナム人専任カウンターパートの配置 3 運営管理職員の配置 4 プロジェクト実施に必要な費用	1 長期専門家：5名 チーフアドバイザー 調整員 専門家（機械加工、金属加工、電気制御） 2 短期専門家 プロジェクトの円滑な実施のために必要に応じ派遣される。 3 カウンターパート本邦研修 プロジェクトの年間実行計画に基づき、技術協力の予算積 置の範囲内で日本において訓練される。 4 供与機材 プロジェクトの効果的な実施に必要な機材、設備は技術協 力の予算積置の範囲内で供与する。 5 現地業務費	・ ハノイ工科短期大学の指導員が離職しない。 ・ ハノイ工科短期大学の財政基盤が安定している。
			前提条件 ・ プロジェクト実施のための建物、施設及び必要な数の機材がベトナム側より確実に供与され、活用可能な状態にある。
活動			
1) 機械工業分野のニーズにあった訓練計画が策定される。 1)-1 ベトナムにおける機械工業界の現状を分析する。 1)-2 機械工業界が必要としている職業訓練内容を明確にする。 1)-3 機械工業界のニーズに適合した訓練内容を策定する。 1)-4 ハノイ工科短期大学の訓練政策に助言する。 2) 訓練生募集選考体制が確立される。 2)-1 入学志願者の応募資格、条件を規定する。 2)-2 有能な入学志願者を募集するための広報、宣伝活動を実施する。 2)-3 訓練生の募集、選考を実施する。 2)-4 ハノイ工科短期大学の訓練コースの訓練生募集・選考関連の活動について助言をする。	3) ハノイ工科短期大学の機械工業分野の指導教官の能力が向上する。 (指導員が以下の項目について知識と技能を習得する。) 3)-1 カリキュラム開発手法を習得する。 3)-2 分野別専門技術を習得する。 3)-3 教科書、教材開発手法を習得する。 3)-4 訓練技法を習得する。 3)-5 講義準備手法を習得する。 3)-6 コース管理手法を習得する。 3)-7 コース評価手法を習得する。	4) 機械加工、機械板金加工、電気制御分野での適切な訓練が短期、長期職業訓練コースとして確立される。 4)-1 訓練コースのカリキュラムを作成する。 4)-2 訓練コースの教科書、教材を作成する。 4)-3 訓練コースを実施する。 4)-4 訓練コース内容を評価する。 4)-5 訓練コース内容を必要に応じ改訂する。 4)-6 その他、技術移転に必要な教材を作成する。 5) 適切な施設、機材、設備が設置され 有効に活用される。 5)-1 機材、施設を調達し、設置する。 5)-2 施設、設備、機材を管理し、保守する。	6) ハノイ工科短期大学の組織、人事、財政が適切に運営される。 6)-1 必要な予算を確保し、適切に執行する。 6)-2 計画に応じた適正な人員を確保する。 6)-3 定期的に管理をモニターする。 6)-4 自立発展的に組織を企画運営する。 6)-5 ハノイ工科短期大学の運営に助言する。

評価グリッド(案)：ベトナム国ハノイ工科短期大学機械技術者養成計画プロジェクト(中間評価用)

作成日：2002年8月9日

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	情報源	調査方法
実績	上位目標の達成度(見込み)	調査にて検討		
	プロジェクト目標達成度	短期職業訓練コース実施数と参加者数 短期職業訓練参加者による訓練内容の評価 技術移転を受けたCPの定着状況	HICの資料 CPs, 専門家 HICの資料	資料レビュー アンケート、インタビュー 資料レビュー
	成果の達成度	成果1 機械工業界現状分析結果報告書、ニーズ分析報告書、訓練計画書等 成果2 募集・選考規定、広報用に作成された資料、訓練生の応募者数 成果3 短期職業訓練参加者の指導教官に対する評価 成果4 各分野別に作成されたカリキュラム数、教科書、教材の数 各分野別訓練コースの実施回数および参加者数 成果5 設置された機材・施設の数、稼働率、機材使用マニュアルの数 機材の保守・管理状況 成果6 獲得予算の推移、予算執行状況、人員配置状況 運営委員会の開催頻度	HICの資料、プロジェクトの調査資料 HICの資料、モニタリング報告書 CPs, 専門家 HICの資料、モニタリング報告書 HICの資料、モニタリング報告書 HICの資料、モニタリング報告書 HICの資料、モニタリング報告書	資料レビュー 資料レビュー アンケート、インタビュー 資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー
	投入の実績	ベトナム側 * プロジェクトに必要な人員 * プロジェクト実施に必要な経費と資材 * 訓練施設、日本人専門家執務室 日本側 * 専門家派遣 * 研修員受入 * 供与機材 * 現地コスト負担	モニタリング報告書 モニタリング報告書 モニタリング報告書 モニタリング報告書 モニタリング報告書 モニタリング報告書 モニタリング報告書	資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー
	活動の進捗状況	プロジェクト進捗状況	モニタリング報告書 CPs, 専門家	資料レビュー アンケート、インタビュー
	モニタリングの実施状況	モニタリングの仕組み PDM、詳細活動の軌道修正内容 外部条件の変化への対応 内部化の状況	モニタリング報告書 モニタリング報告書、CPs、専門家 モニタリング報告書、CPs、専門家 モニタリング報告書、CPs、専門家	資料レビュー 資料レビュー、インタビュー 資料レビュー、インタビュー 資料レビュー、インタビュー
	専門家とカウンターパートとの関係性	コミュニケーションの状況 共同作業による問題解決方法の見直し状況 カウンターパートの変化(主体性、積極性)	CPs, 専門家 CPs, 専門家 CPs, 専門家	アンケート、インタビュー アンケート、インタビュー アンケート、インタビュー
実施プロセス	受益者の事業への関わり方	指導員の認識の変化	CPs, 専門家	アンケート、インタビュー
	相手国実施機関のオーナーシップ	HICの参加の度合い 予算の手当て カウンターパートの適正度	CPs, 専門家 モニタリング報告書 モニタリング報告書、専門家報告書	アンケート、インタビュー 資料レビュー 資料レビュー

評価項目	調査項目	必要な情報・データ	情報源	調査方法
1. 妥当性  被援助国のニーズ、政策との整合性、日本の援助事業としての妥当性があるか。	1.1 上位目標のベトナム国の開発政策との整合性	ベトナムの開発計画における機械工業分野に関する政策	国家開発計画	資料レビュー
	1.2 プロジェクト目標の相手側のニーズとの整合性	ベトナム政府のHICへの位置付け HICのニーズとの整合性	工業省、投資省の政策 CPs、専門家 プロジェクトで実施した調査報告書	インタビュー アンケート、インタビュー 資料レビュー
	1.3 プロジェクト目標のターゲットグループのニーズとの整合性	ターゲットグループの選定、規模の適正度	CPs、専門家	アンケート、インタビュー
	1.4 上位目標の日本の開発援助政策との整合性	日本の国別援助方針	JICAの関係資料	資料レビュー
2. 有効性（目標達成度）  プロジェクトの実施により、期待される効果が得られているか？ プロジェクトは有効であるか？	2.1 プロジェクト目標の達成度合い（適正か）	短期職業訓練実施状況 長期訓練開始への準備状況	HIC、プロジェクトの資料、CPs、専門家 HIC、プロジェクトの資料、CPs、専門家	資料レビュー、インタビュー 資料レビュー、インタビュー
	2.2 プロジェクトの目標と成果の関連	各成果の貢献度合い	CPs、専門家 CPs、専門家	アンケート、インタビュー アンケート、インタビュー
	2.3 外部条件の影響	プロジェクトの進捗を妨げる事例	CPs、専門家	アンケート、インタビュー
3. 効率性  プロジェクトは効率的であるか。（投入された資源量に見合った成果が達成されているか。）	3.1 日本側投入の適正度	専門家派遣（人数、タイミング、分野） 供与機材（種類、機種、数、タイミング）の適正 研修員受入（タイミング、人数、研修内容）	CPs、専門家 CPs、専門家 CPs、専門家	アンケート、インタビュー アンケート、インタビュー アンケート、インタビュー
	3.2 ベトナム側投入の適正度	CPsの配置（人数、タイミング、分野） プロジェクト運営費 提供された施設設備の適正度	CPs、専門家 モニタリング報告書 モニタリング報告書	アンケート、インタビュー 資料レビュー 資料レビュー
	3.3 投入の活用度	人材 資材・機材 業務費	CPs、専門家 モニタリング報告書 モニタリング報告書	アンケート、インタビュー 資料レビュー 資料レビュー
	3.4 プロジェクト運営管理	プロジェクト運営委員会、合同調整委員会の実施状況	モニタリング報告書	資料レビュー
4. インパクト  プロジェクト実施の間接的・波及的効果はあるか？	4.1 機械技術者養成能力向上への貢献度	上位目標の達成度合い（短期訓練実施の成果）	HICの資料、モニタリング報告書 モニタリング報告書	資料レビュー
	4.2 予想しなかったプラスの影響	HIC内、および他の機関への波及効果の事例	CPs、専門家 モニタリング報告書	アンケート、インタビュー 資料レビュー
	4.3 予想しなかったマイナスの影響	HIC内、および他の機関への波及効果の事例	CPs、専門家 モニタリング報告書	アンケート、インタビュー 資料レビュー
	4.4 外部条件による影響	外部条件により変更された活動	CPs、専門家 モニタリング報告書	アンケート、インタビュー 資料レビュー
5. 自立発展性  プロジェクトの効果は今後も持続していくか？ （プロジェクトの効果を最大限活かしていくには何が必要か？）	5.1 政策的支援の継続、組織運営能力	関連規制、法制度の整備状況	工業省の政策	資料レビュー
	5.2 HICの運営財源の確保の可能性	予算の確保、財政支援の継続性 施設、機材の保守、維持管理システム	工業省の政策、モニタリング報告書 CPs、専門家	資料レビュー アンケート、インタビュー
	5.3 移転した技術の定着と普及の仕組み	CPsの定着度 自己評価結果 機材維持管理能力	モニタリング報告書 プロジェクトで実施した調査報告書 モニタリング報告書	資料レビュー 資料レビュー 資料レビュー
	5.4 持続的効果の発現要因と阻害要因		CPs、専門家	アンケート、インタビュー

## 6. 専門家派遣実績及び研修員受入実績

### 専門家派遣

#### 長期専門家

1. チーフアドバイザー：	木村大樹	2000.8.27～2003.8.26
2. 調整員：	高橋佳子	2000.4.24～2002.4.23
プログラム調整員	西宮康二	2002.4.27～
3. 専門家		
機械加工専門家：	北野信一	2000.8.27～2003.3.31
金属加工専門家：	大藪千治	2002.4.24～2002.4.23
	斎藤 靖	2002.4.10～2004.4.9
電気制御専門家：	清水達也	2000.4.24～2002.4.23
	小坂佳正	2002.4.10～2004.4.9

#### 短期専門家

1. シーケンス制御：	小坂佳正	2001.10.15～11.9
2. CAD 技術：	安井雄祐	2001.10.15～11.9
3. 生産管理：	山田晃司	2002.1.9～2.6
4. 機械設計：	前田拓也	2002.1.9～2.6
5. 品質管理：	田上晴久	2002.2.28～3.22
6. 機材管理：	佐久間貞二	2002.2.28～3.22
7. 塑性加工：	中杉晴久	2002.3.26～4.23

### 研修員受入

#### 2000年度

1.	職業訓練管理：	Mr. Ngo Xuan Do (HIC 校長)
2.	機械加工	Mr. Vu Dinh Thom(機械加工担当教官)
3.	金属加工	Mr. Tran Van Minh (金属加工担当教官)
4.	マイクロコンピュータ技術	Mr. Pham Xuan Khanh (電気制御担当教官)

#### 2001年度

1.	機械加工	Mr. Tran Duc Quy (機械加工担当教官)
2.	金属加工	Mr. Nguyen Van Thanh(金属加工担当教官)
3.	シーケンス制御技術	Mr. Vu Thai Giang (電気制御担当教官)
4.	職業訓練向上セミナー (集団)	Mr. Ha Xuan Quang (HIC 副校長)
5.	職業訓練管理	Mr. Hoang Xuan Nguyen (HIC 副校長)



2002年度

- |    |           |                                   |
|----|-----------|-----------------------------------|
| 1. | 機械加工      | Mr. To Tien Long (機械加工担当教官)       |
| 2. | 金属加工      | Mr. Nguyen Truong Gian (金属加工担当教官) |
| 3. | シーケンス制御技術 | Mr. Kieu Xuan Thuc (電気制御担当教官)     |

機材の利用、管理状況一覧表  
(160万円以上の機材)

供与年度	番号	機材名(メーカー名・型式)	価格(千円)	数量	利用(保管)場所	利用状況	管理状況	備考(特記事項)
平成12年度	PJ0001	汎用旋盤(テクノフシノ LEO-80A)	7,948	5	機械加工(TR)	A	A	
同上	PJ0002	超硬バイト研削盤(伊藤製作所、DP-2NS)	1,807	1	機械加工(TR)	A	A	
同上	PJ0004	ドリル研削盤(藤田製作所、DG50B)	1,800	1	機械加工(TR)	B	A	
同上	PJ0005	帯鋸盤(ニコテック SCH-25SA)	2,090	1	機械加工(TR)	A	A	
同上	PJ0019	NC旋盤(森精機製作所 SL-253A/500)	15,656	1	機械加工(NC)	A	A	
同上	PV0046	CAD/CAMシステム(Mastercam,mill Level3 Lathe)	4,526	1	機械加工(NC)	A	A	
同上	PV0047	3次元測定器(MITSUTOYO,QMM-333)	2,518	1	機械加工(MR)	A	A	
同上	PV0048	測定器一式	3,384	1	機械加工(MR)	A	A	
同上	PJ0007	コーナシャワー(AMADA,CSW-250)	3,938	1	金属加工(WS)	A	A	
同上	PJ0008	万能試験機(島津理科学、UH-500KNI)	15,959	1	金属加工(IR)	C	A	技術移転スケジュールによって使用
同上	PJ0016	油圧式プレスブレーキ(AMADA,RG-50)一式	14,700	1	金属加工(WS)	A	A	
同上	PJ0017	薄板用動力シャー(AMADA,DCT-2045)	10,158	1	金属加工(WS)	A	C	エラー表示の頻発のためメーカーに問合せ中
同上	PJ0018	中板用油圧式動力シャー(AMADA,ESH-1213)	13,524	1	金属加工(WS)	A	A	
同上	PJ0011	プリント基盤加工システム(FP-7LA)	1,700	1	電気制御(EF)	B	A	
同上	PJ0013	自動搬送装置(SMK-2B)	2,500	1	電気制御(EF)	B	A	
同上	PJ0014	シーケンス制御制御装置(SKD-18B)	2,230	1	電気制御(EF)	B	A	
平成13年度	PV0053	溶接用工具一式	3,145	1	金属加工(WS)	A	A	
同上	PV0055	超音波探傷機	6,642	1	金属加工(IR)	C	A	技術移転スケジュールによって使用
同上	PV0056	リレーシーケンス装置一式	1,632	1	電気制御(EF)	B	A	

- ・利用状況: A:頻繁に使用 B:良く使用 (週1~3回) C:特定の時期に集中的に使用 D:余り利用されていない (年3~11回) E:特別な理由により利用されていない  
 ・管理状況: A:点検整備が十分に行われ、常に使用可能な状態。B:使用に際しては特段の問題はなく管理は概ね良好。C:整備を行えば使用可能。D:使用は困難な状態。